

3年生「高志学」東京研修を実施しました

11月8日（火）～11日（金）に東京研修に行ってきました。2年次で東京研修ができず、3年次のシンガポール研修も断念してきた経緯があり、2年次よりもさらに高次の東京研修をしようと全力で準備してきました。6月にクラス別コンペ・学年コンペを行い、今の6期生の希望を多く組み込むためには従来の東京研修よりも一泊長い3泊4日にしたいという熱い思いのもと、校長先生へのプレゼン発表を重ね、計画立案してきました。そして形になったのが今回の6期生版東京研修です。「防災・環境・健康」をテーマにした「コース別」研修をメインに据え、福井と東京を比較しながら「問い」を立て、その問いに対する提案を考える研修となりました。

1日目

◇班別研修 A (大使館研修+テーマ関連施設班別研修)

海外の空気に触れたいということで、班ごとにシンガポール大使館・スウェーデン大使館・カメルーン大使館・コートジボワール大使館・アンゴラ大使館・ユニセフ・WIP（福井出身の方が起業したグローバル企業）に行き、相手国や相手先について学ぶとともに、各コースで考えた質問についても伺いました。生徒たちは「スウェーデンの自然享受権には驚かされました。また、多様性の尊重は今の時代欠かせないと思いました。」「今までにないビジョンで福井を見ることができ、伝説×福井という新たな可能性に気づけた。英語以外の母言語を大事にするという風潮など世界で起きている様々な変化について知ることができた。四季がはっきりしていて日本の文化が凝縮された福井の可能性について今後も深く考えたいと思った。」など感じていました。その後、気象博物館や発泡スチロール協会など、テーマにかかわる施設を訪問し、学びを深めていました。



コートジボワール大使館



アンゴラ大使館

◇ようこそ先輩

都内在住の1・2期生計7名の先輩方に来ていただき、少人数グループでお話を伺いました。中学生の時の悩み、高校での学習の仕方、進路決定などこれから6期生が歩む道のことについてお話しいただき、「中学3年生のこの時期から高校に向けて勉強を頑張ると、大学受験の時の選択肢が広がることを再確認することができた。



今自分が興味を持っていることをとことん突き詰めて勉強と両立して頑張っていこうと思う。」と述べている生徒がいました。

初めての班別での都内移動や、ナイフとフォークを使ったコースディナーなど、初日は緊張でいっぱいでした。またこの日は皆既月食と天王星食という天体ショーもあり、移動途中みんなで見上げたのも良い思い出となりました。

2日目

◇班別研修 B (博物館・美術館研修+自由班別行動)

この日は、コンペで上がってきた、6期生のやりたいことをやる日に設定しました。コンペの中では「博物館に行きたい」「フォトコンテストをやりたい」という声が多かったのです。まずは「東京国立博物館」「国立科学博物館」「日本未来科学館」の中から一つ選択し、そこで知識を深めるとともに、行きたい場所に見学に行きました。しかしこの博物館も大きく、移動も大変で時間に追われた班もあったようです。それでも「国立科学博物館や TenQ にて、生物や天体などに関する様々な展示を鑑賞しました。科学博物館にて主に地球館を訪れたのですが、生物の情報だけでなく実物大の展示が多くあり、好奇心をそそられました。TenQ にて天体の詳しい情報をたくさん見つつ、美しい映像技術にも触れられました。自分だけなら行かない場所に行けて楽しく学びある班活動でした。」などと充実した時間を過ごせていたようです。



宇宙博物館



東京国立博物館

◇teamLab 研修

巨大なデジタルアートを体感できる施設。直接作品の中に入り、現実とデジタルの間を浮遊するように楽しむことができる。ここではフォトコンテストを実施しましたが、レンタルスマホのカメラでは対応しきれないスケールでの様々な仕掛けに圧倒されっぱなしでした。生徒も「方向感覚を失うような新しすぎるアートを体験できて楽しかった。特に水に濡れる作品は衝撃を受けた。アートっていう概念を考えさせられる機会になった。」と触発されていたようです。



◇MAKERS UNIVERSITY 研修

ホテルに移動した後は、「全校生徒、革命児。次世代のイノベーターを育成する学校」をうたい、「この惑星に、まだないワクワクを創ろう。何度失敗しても、それでも前に進む信念。それだけあればいい」というコンセプトの学生企業集団、MAKERS UNIVERSITY による研修でした。9人の講師を迎え、10人ずつのグループで話を伺い、気軽に質問できる場となりました。疲労もピークに達していたのですが、講師陣の生き生きとした姿に生徒たちも前のめりになって話を聞いていました。「人の数だけ人生に生き方があることが分かりました。私が考えもしなかったことを仕事にしていたりして、将来が現実味を帯びたように思いました。既存の概念を全て壊されて、お話を聞いてすごくドキドキしました。」「起業家の皆さんは、「自分らしさ」を持っていて羨ましいと思った。今回は羨ましいと思うだけでなく、質問タイムが設けられたことで「自分らしさ」を持つコツなどをも教えてもらえてとてもいい話が聞けた。これからはアイデンティティをもてるよう

に努力したい。」などと生徒たちは非常に刺激を受けた研修となりました。



3日目

◇コース別研修

今回の東京研修のメインはコース別研修です。事前に東京と福井を比較しながら問いを立てました。

防災 問い「福井の災害に適応するには」 訪問先「東京スカイツリー×防災船」

環境 問い「福井の自然を生かして福井の米の価値を高めるには」

訪問先「銀座はちみつプロジェクト×松屋銀座」

健康 問い「福井県での運動施設の利用の幅を広げることができるのか」

訪問先「スポーツ庁×味の素スタジアム」

このようなコース設定でした。普段は入れないような場所を説明していただき、どのコースも非常に満足度が高い研修となりました。事前学習や一日目の班別研修での学びがさらに深まり、「スカイツリーの耐震構造が沢山施されていることに驚いた。また、防災船を水上バスにもし、防災と観光を掛け合わせるという素敵な視点にも驚いた。世界的に見ても大都市の東京の凄さを改めて実感した。」「銀座ミツバチプロジェクトでは銀座とみつばちという意外な組み合わせから緑化や観光につながり新たな産業を興すことができるということを学びました。また、松屋では素材の風味や良さを活かして商品をつくるために、お客さんに商品の向こうにある「ストーリー」を届けるということを意識して活動していることが分かりました。」「味の素スタジアムでは、スポーツについての話を聞き、日本のスポーツの状況について学ぶことが出来ました。スポーツによる地域創生をすることによって健康・経済活性につながり、精神的にも明るく過ごすことができるということがわかりました。一律にスポーツ推進の政策を広めるのは難しいということでしたが、もっとたくさんの方がよりスポーツを楽しめるようになればいいと思いました。」などと考察していました。



防災コース



環境コース



健康コース



◇ディズニーランド

5時間半、生徒たちは時間いっぱい満喫していました。ちょうどクリスマスイベントシーズンに入ったばかりでより一層楽しく感じられたようでした。

4日目

◇TOKYO GLOBAL GATEWAY 研修

海外をイメージして作られた巨大な施設の街並みのなか、ALL ENGLISH でグローバルな世界を体験できました。ニュースを作ったり、SDG sについて考えたり、3時間どっぷり英語の世界にひたりました。8人に1人ネイティブの STAFF がついて盛り上げてくださるので、最初は恥ずかしがっていた生徒たちもすぐになじむことができました。生徒からは「TGG ではずっと英語でコミュニケーションをとらなければいけなかったのも、難しかったし疲れた。でも森林の問題についての話し合いでは英語で話し合い、案を出し発表することができて、楽しかった。話し合いも色々なシチュエーションの会話の体験もとても役に立ったと思う。」「多文化理解について、実際に体験をしてみながら英語で考えることができました。エージェントの方々の国籍もそれぞれで、その中でも多文化理解について考えさせられました。その後は実際に日常生活の中のシチュエーションでの体験をしてみ、小さな留学をしているみたいで楽しかったです。」との声が上がっていました。



がっていました。

そして最後にお台場にあるヒルトンでおしゃれな高級ビュッフェを堪能し全行程を終えました。4日間とも快晴でお天気に恵まれ、たくさんの人のお話を聞くことができ、本当に有意義な研修となりました。生徒たちも次のステップに向けて歩き出す方向を見つける研修となったようです。お世話になった方々、本当にありがとうございました。